

中央アルプスの盟主と岩の峰を訪ねる 木曾駒ヶ岳・宝剣岳

実施日 2015年9月12日(土)～13日(日)
 天候 9/12 晴れ 9/13 雨後曇り
 リーダー 涌井 良明
 参加者 涌井良明、白石恵美子、石附智江、
 中村友子、伊藤久雄、石原勝正、
 宇野輝代、宮崎敏男 計8名
 費用 交通費@3,650円(バス使用負担金)
 宿泊費6,414円
 タイム 9/12 高尾駅南口南口(6:45)バスセンター(11:00~15)しらび平(11:45~50)千畳敷駅(12:00~15)乗越浄土(13:00)宝剣岳(13:20~13:45)宝剣山荘(14:00~05)木曾駒頂上山荘(14:25~30)木曾駒ヶ岳(14:45~15:00)頂上山荘(15:10~30)千畳敷駅(16:10~16:30)しらび平(16:40~50)菅の台バスセンター(17:20)
 9/13 宿舎(9:00)馬籠宿(10:30~12:10)妻籠宿(12:25~14:00)昼食)高尾駅南口(20:00解散)

9/12 2日前には台風18号による鬼怒川決壊のニュースが大々的に報じられ、濁流に飲み込まれる家屋、必死に屋根や電柱にしがみついて救助を待つ人の映像を見つつ、山の準備をするのもいまいち気分的なのりにはかけたが、まあ自分が何を出来る訳でもないの、と気分を無理矢理盛上げて？予定通りに早朝に集合の高尾に向けてガレージを出る。

と、信号待ちをしていると、何と今度は東京湾が震源の地震が襲来、中央道でこれから通過する調布市は震度5弱だと！無事に特に障害もなく高尾駅に、電車が止まって遅れたメンバーを待ってやや遅れてスタート。高尾山ICから中央道合流迄は大渋滞、それでもめげずに駒ヶ根を目指す。

想定時間よりやや遅れて菅の台バスセ

ンターPに。待時間も殆どなく、シャトルバスでしらび平へ、ここも混雑はなくロープウェイで7分半で標高差950mを登り千畳敷駅舎を出ると！写真や映像で見慣れたカールが広がる。実景はやっ



ぱり違うと、思う・か・な？この高さ(2600m)まで一気に来ると、ウーッ少し寒いね。もあって、軽くエナジ

ーサプリ。カール内の道を進む。花の姿は殆ど見られず、ナナカマドの赤い実が秋を感じさせる程度で紅葉もまだまだ。それでもさすがは一級の山岳観光地、人の姿は多い。散策、山スタイルとそれぞれに秋晴れの千畳敷カールを楽しんでいる。

午後になった登山道は観光ハイカーも混じっての下りの列が続き、行き違いが連続する道になる。振り返ると南アの山並みと富士山が僅かに頭をのぞかせている。行き違いに気を取られているうちにカールの縁への急登も一気に登り、45分程で稜線の乗越浄土に出る。



宝剣山荘脇にザックを置き、宝剣岳に向かう。岩道のマーキングを追って登る所々鎖場を含めちょっとした岩登り気分



で登る。高度感のある岩をへつるように斜上すると岩塊の宝剣岳である。

眺めは申し分ないが、なんせ数

人で満員になるので、長居はできないが今はそれ程多くないので、何とか皆で写真に納まることもできた。

宝剣山荘に戻り、なだらかな盛上がりに見える中岳へ向かうが、今日は高度順化が不足してるので、この高さは息が切れる。フー！岩だらけの中岳に登ると正面に木曾駒ヶ岳と頂上山荘が見える。山荘の鞍部でザックを下し、そのまま山頂へ15分程で中央ア最高峰の木曾

駒ヶ岳(2955[㍎])に立つ。頭上は青空で南



アは積乱雲が連なっているが、充分満足できる眺望である。恒例の写真撮りにひとしきり大騒ぎして、山

頂を辞して山荘へ戻る。

さて、当初はここで泊る予定だったが明日は午前中が雨予報なので、ロープウェイ経由なら下山できるため、降りようと衆議一致、下山力を補給して15時30分、往路を戻る。

中岳～乗越浄土へ、登りではあまり感じなかったカール上部の急傾斜には少々驚きもあった。



16時10分には千畳敷ロープウェイ駅に下山できた。元気すぎる？こぶし会。

カールはすっかり陽の光も届かなくなっているが、岩の稜線を輝かせる残照が真っ蒼な空を切り取るスカイラインを描いていた。

ここからは観光客になって、ロープウェイ～バスを乗り継ぎ菅の台バスセンターPへ戻った。

さて、この後は予定も計画もなしの道中になる。まず今夜の宿探し、便利な時代に感謝しつつ、宿泊サイトから直ぐ近くの温泉ホテル？を確保、どうも最近中国系に買収されたような、少し怪しげなホテルだったが、手足が伸ばせ寝返り自由の寝具、温泉・朝食まで付いて予定していた頂上山荘(素泊)と同程度の料金で済んだのは何よりだった。

で、持参山食は味気ないので、豪華？にラーメン餃子の夕食と乾杯麦酒の買い出し後、ゆっくりのんびりと温泉、宴会と続いてからzzz・・・

9/13 旅行気分朝から温泉に浸かりゴキゲン。7時位からは予定通りに雨が降ってきた。

今日は中山道宿場シリーズとなって、駒ヶ根ICから南へ南木曾町に向かう。

飯田山本ICからR256を走り、馬籠宿へ。急な坂道に沿った宿場の街並みが保存され観光客やハイカーの姿も多い。



恵那山も望める坂の町を両側の土産物屋を覗いたりしながら散策を楽しんだ。

戻ったメンバーそれぞれに、秋の野菜や土産の袋が手にしていて、買い出しツアー状態となっていた(^^)

次は木曾路の超有名観光スポットの妻籠宿へ回る。

江戸時代の街並みが保存され軒を避けている木が写り込んだ観光ポスターは誰でも目にしたことがあるかも知れない。



我々も江戸時代の面影を残す町並みを散策して、お約束の信州の手打ちそばを賞味して、帰路についた。

恒例？の日曜の中央高速上り大渋滞は25^キ、延々と続けた4者会談でそれものりきり午後8時高尾駅に帰着して、解散。

1日目は千畳敷駅から行動約4時間で、宝剣岳・木曾駒ヶ岳の二山に登り戻ってくる事が出来たのは、やや以外であった。中央ア最高峰の3000[㍎]近い頂に立つのがこの時間で済むというのは、改めてロープウェイの威力を再認識させられた思いだった。



但し、花や紅葉の時期はそのロープウェイは上下共に1～2時間待ちが当たり前となるので計算上はできててもそう簡単なことではないだろう。9月に設定して正解だったかもね。

山中にいた時間が短かったものの、天気にも恵まれて、個人的には中央アの雰囲気や眺望も楽しめ、それなりに満足できる山だったと思っている。

参加いただいた皆さん、またこんなツアー山行へ参加してみませんか？

えっ！ もう懲りたって！

(記&写真提供・涌井 良明)

(写真提供・伊藤久雄)